



# しらら



何が出てくる  
のかな？

十三小学校では10月24日社会科で日本の歴史を学習している6年生を対象に、十三湊遺跡の発掘体験学習を行いました。

当日子どもたちは初めての体験で砂まみれになりながらもはるか昔、自分たちと同じ十三の地で生活していた人々に想像をふくらませました。

# 『しら音頭制作5周年記念』 芸能フェスティバル 開催される



きっかけは  
しら音頭の制作から

▲フィナーレは会場全体が一つの輪になったしら音頭

平成二年からふるといって、生事業として取り組み、音頭にかけてはわが国第一号といわれる和扇流家元・宮川和扇先生と地元出身歌手伊南喜仁さん、小山内文明さん、山中博さんらによって平成三年に生まれた「しら音頭」の制作五周年を記念して、宮川和扇先生と、宮川先生が四国一円に踊りの輪をつくろうと昭和三十七年に結成され、いまでは会員五千人、四国地区最大の民舞集団にまで発展した。四国民舞輪の会を招待し、十月五日(土)村コミュニティセンターにて芸能フェスティバルが開催されました。

当日は三百人を越える観客が集まり、超満員の中スタート。

第一部では「金比羅舟々」「字和島さんさ」など四国民舞輪の会による舞踊や「津軽あいや節」「十三の砂山」など市浦村の伝統芸能が披露され、第一部のフィナーレは「十三の砂山」の調べを中心に、津軽地方の雪と戦い、雪に折り、生活の厳しさなど様々な折りを込めた宮川先生自らの振

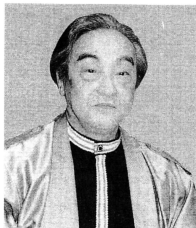
り付け、演出による創作舞踊「十三の雪唄」が披露され観客を魅了した。

続く第二部、唄のコーナーでは伊南喜仁さんによるヒット曲「メドレー、ナツメドリ」でデビュー・CDとは違う生の唄の迫力に感動し、第三部では伊南喜仁さん、岡田めぐみさんと四国民舞輪の会による共演が行われ、フィナーレでは会場全体をステージにして、出演者と観客が一つの輪になって踊った「しら音頭」で会場の盛り上がりは最高潮に達し、幕を閉じました。

本州の北の果てである我が青森県市浦村と、本村からはか南方に位置する四国地方、どちらも首都・東京から遠く離れた地方ですが、地域の文化を大切にしています。その二つの地域がしら音頭の完成を期に交流活動が始まり、今回このような形で実現しました。踊りによって距離は遠く離れていても、心のつながりが生まれ、人の輪が生まれる、宮川先生の理想にまたひとつ近づくことができました。

今後も市浦村では村内外の交流促進イベント等を企画していきますので、村民みなさまの参加・ご協力をお願いします。

# 今後も地域間交流の お手伝いできれば と思っています



▲宮川和扇先生

しうら音頭がきっかけで、交流がはじまり、今回四国民舞輪の会60名と共に市浦村での交流会が実現しました。みなさんのご招待に感謝いたします。

四国民舞輪の会は地域の文化を大切にしている点で共感もっていますので、今後も住民レベルで実現できる生きた交流のお手伝いできればと思っています。

みや かわ わ せん  
宮 川 和 扇

愛媛県生涯学習推進講師  
愛媛県民謡舞協会の会長  
四国民舞輪の会会長  
昭和39年に四国民舞輪の会を結成。  
国際芸術文化賞を受賞。

民謡踊りは趣味の習い事にあらず、祖先達の祈りでありその部落や社会の共通の声である。その原点の心に基づき、今日も四国民舞輪の会を通じ地域文化の振興に取り組んでいる。

また戦時中は特攻隊員を務め、その中で先輩、友人が次々と戦争によって散っていった。その魂の供養を舞踊という形で表現することを信念としている。そのため別名「鎮魂の舞踊家」とも呼ばれている。

# 老いも 若きも 輪になって



▲民舞輪の会による踊り



▲市浦からは「十三の砂山」などが披露されました

## プログラム

### オープニング 十三湊

創作太鼓「東日流衆」  
全国おどりの音頭  
(唄) 伊南喜仁  
(踊) 輪の会指導員

### 第1部

1. 金比羅舟々 (香川)
2. 津軽あいや節 (相内)
3. 小馬踊り (脇元)
4. 宇和島さんさ (愛媛)
5. 龍馬は生きる (高知)
6. 津軽山唄 (相内)
7. 十三の砂山 (十三)

### フィナーレ

十三の雪唄 (創作舞踊)

### 第2部 伊南喜仁唄のコーナー

### 第3部

1. 舞一人 (輪の会)  
(唄 岡田めぐみ)
2. 宴の槍 (和扇流家元)  
(唄 伊南喜仁)
3. 全国おどりの音頭

フィナーレ  
しうら音頭



▲宮川先生ごん身の舞い

# 「市浦村土地改良区」 設立される



▲10月3日に行われた第1回総会

中里町から五所川原市にかけて津軽平野を南北に縦断している広域農道「め米ロード」を走っている、みわたすかきりの整備された水田が広がっています。隣町である中里町は昭和四十三年に土地改良区が設立され、農地の整備事業によって現在

の姿になっています。しかし我が市浦村の農用地のうち、一部の水田は農家個々による区画整備が実現されていますが、全体的な整備はされておらず、また水田の多くは湿田で、しかも各農家の水田や畑が各地に点在しており、作業効率が悪くなっているため、以前から水田に限らず農地整備の必要性が叫ばれていました。過去には本村でも何度か同様の試みが行われましたが、当時は現在と比べて農地整備に費やす負担金が高額であったり、農家を取りまく状況がガツト、農家アイルラウンド等の問題もなく、昨今ほど厳しくなかつたために農家の問題改善意識をおこさせることができず、実現には至りませんでした。しかし、現在の農家をとりまく環境は非常に厳しくなっており、それに対応するため、今回市浦村にも全額の出費改良区が設立され、去る十月三日、村コミュニティセンターにて設立総会



▲市浦の農地も今後は整備されることでしよう

が開かれ、各種事業の実施計画などが承認され、同時に理事五人、監事一人の決定も行われました。後日開催された理事会及び監事会において、左のように組織されました。

市浦村土地改良区役員  
理事 高松 隆三  
理事長職務代理者 三和 均  
理事 田中 義春

理事 三和金春  
理事 成田俊二郎  
総括監事 三上光治  
監事 三浦功  
市浦村土地改良区各委員会  
用排水調整委員会  
委員長 田中義春  
委員 秋田耕三  
委員 吉田耕三  
委員 奈良正広  
委員 三和敏道  
委員長 三和金春  
委員 成田俊二郎  
委員 三和博明  
委員 秋田谷長一  
委員 米谷勇蔵  
委員 三浦俊一  
委員 米谷由一

「市浦村土地改良区」は、農業生産の基盤整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善

に資することを目的としており、そのために農地の換地計画（五頁上段参照）を今年度三月いっぱいまでに完成し、来年度十月から実施する予定です。農地のほ場整備等、土地基盤の整備を図り、生産性の高い農業経営の確立をめざしています。

なお、ほ場整備事業の全体計画と平成八年度計画は次のようになっています。

1. 全体計画		2. 平成8年度計画	
事業期間	平成8年度～平成12年度の5カ年	事業内容	調査、測量、設計委託、換地計画委託
事業費 内訳	12億8,500万円	事業費 内訳	1億542万円
	県補助金 (87.5%) 11億24,375千円		県補助金 (87.5%) 92,242千円
	村補助金 (7.5%) 96,375千円		村補助金 (7.5%) 7,907千円
	土地改良区負担金 (5.0%) 64,250千円		土地改良区負担金 (5.0%) 5,271千円

# 換地とは

市浦村の現在の農地はほとんどが図1のように所有者A、所有者Bの農地が各々点在し、道路も水路も入り組んでいる状況です。

そこで工事後の新しい区画や道路、水路などの所有者や耕作者を決め直すことによって、図2のように所有者A、所有者Bそれぞれの土地が一方所に集まることによって、農地での作業効率が向上し、水路が整備されることによってすべての農地に水が行き届き、道路が整備されることによって農地へのアクセスや農業機械の運搬が便利になります。

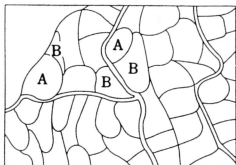


図1  
工事前

従前の土地  
旧道路、水路

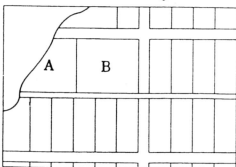


図2  
工事後

換地  
新道路、水路



▲市浦村からも出品されていました

第十五回産業まつりが十月六日、役場前広場で盛大に開催され、町内外から約四、四〇〇人が押しかけ地場産の牛肉や野菜、シイタケなどの農水産物をはじめ、衣料、日用雑貨、暖房器具などを商う三十六のテントが立ち並びました。

午前十時の開店前から出血サービスの大声が飛び交い、朝早くから詰めかけていた大勢のお客さんがこれかと思う目当ての商品を買い求めていました。

毎年友好町村の青森県北津軽郡市浦村から数々の特産品が出品されていますが、なかでも十三湖特産のヤマトシジミは開店前から長蛇の列ができて数時間で完売する盛況ぶりでした。

ひやま漁業協同組合上ノ国支所の協力を得て行われたサケのつかみどりは、簡易プールにサケ五〇尾ずつ二回行われ、一人で七匹もつかみ上げる子どももいて、観客から歓声がわいていました。

またよさこいソーラン上ノ国会が町民へ初めて踊りを披露。小学生から大人まで百人がリズムに合わせて躍動する踊りに町民は惜しみな拍手を送っていました。



友好町村だより ⑫  
かみのくに  
情報ランド

## 産業まつりにぎわう

特に人気があったのは、恒例のタイムズ、生シイタケ、白砂糖のタイムズパーゲンで本部テント前には長蛇の列が出来ていました。

県広報テレビ「活彩あおもり」  
で市浦村が紹介されます。

放送は 青森放送(RAB)で、  
予定日は 12月8日(日)  
午前7時45分～8時です。  
お楽しみに。

# 12月31日

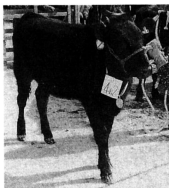
平成8年度工業統計調査が実施されます。調査員がお伺いしますので、皆様のご協力をお願いします。

# NEWS

フラッシュ

## 市 浦牛の復興を目指して

### 第三回市浦村子牛品評会



▲チャンピオンに輝いたはるのみ号

今後、市浦牛品評会をきっかけに品質向上に努め、いつかまた市浦牛の名が全国に知れ渡るようにして下したい。

かつては全国的に有名になったこともある市浦牛、しかし近年質の低下や、牛肉の輸入自由化による安価な牛肉が流通し、一方でブランド嗜好の高まりによって高級牛肉がもてはやされるという二極化現象によって、一時の勢いが衰えていました。そこで市浦村では平成五年より市内の良質な生産による農家経営の安定を図り、優良牛の村内保留に努め、畜産農家の飼養意欲の高揚及び飼育管理技術の向上推進を目的とするため、平成五年より第一回市浦村子牛品評会を開催しています。今年は十月二十一日に開催され、出場した約二十頭が発育状況、体格、毛の細やかさなどの基準によって審査され、その結果、工藤義美さん(磯松)の「はるのみ号」がチャンピオンに輝きました。

また、市浦の畜産経営は牛の体格の向上を第一と考えていましたが、最近では市場の傾向に合わせ肉質を重視し、経営に移行しています。そのため手段の一つとして、従来は全体で一割程度であった人工受精の比率が四割まで向上しました。

## 親 睦会開催される

### 相内第三町内会

九月二十三日、相内第三町内会(会長川口定雄、会員数九十八名)では、市浦村コミュニティセンターにおいて親睦会を開催し、六十一名の会員と、十名のアトラクシヨ参加の奥様たちが集いました。

川口会長が挨拶し、町内会発足当初から十年間会長を務めた三浦兼四郎さんへ感謝状を贈った後、「町内会の歩み」を報告

しています。入賞者が発表され、全国的にレベルが高いと言われている青森県内各保育所から選抜された力作の中で本村からは六名が受賞しました。受賞者はつぎのようになりました。

## 受賞おめでとう!



▲丸山翔平くん(左)と糸谷太貴くん(右)



▲柏谷社一郎くん

- ・佳作 土岐かなえさん (相内保育所)
- ・佳作 なかじまよしたかくん (相内保育所)
- ・東奥日報社長賞 糸谷 太貴くん (相内保育所)
- ・県知事賞 丸山 翔平くん (太田保育所)
- ・図書部 高木 美穂さん (十三保育所)
- ・図書部 ときかなえさん (相内保育所)

また平成七年度「子ども写真・絵画・版画展」では柏谷社一郎くん(相内小学校)が保育所のと書いた作品が佳作を受賞し、「青森県子ども家庭デーブック100」の表紙を飾りました。

いずれの作品も子どもが自らの豊かな感性でとらえたものを「本心に心から喜んで描いている絵」ということを目安に選ばれています。子供たちはこれからもその感性を大事にし、すこやかに成長することをしましょう。



▲大勢の人が参加しました

くるとい今後数年おきに開催するように努力したい」と川口会長は語っていました。



71

# 後之年の取 手遠懐飛

(6)

## 老骨光任

源義家の軍勢催促に応じて集まった総勢は三万六千騎といふから、源氏の先祖から恩顧を受けた武士たちの勢は大したものでした。

寛治三年（一〇八九）六月十六日、大勢が整った義家が家衛・武衛征討の出陣命令を発します。年表では「寛治元年十二月、義家清原武衡の伏誅を奏す」とありますが既に戦いが終わったことになりませんが、「前太平記」によつて話を進めます。



多賀の国府を出た馬上の義家将軍が

いざ出陣という時でした。腰は二重に曲り、頭は黒毛一本も見えない白髪、杖にすがり、従者に手を引かれながら、たどたどしい足取りで義家の御馬の轡に取り付いた老人がありました。その老人の名は大宅光任といひます。義家の父頼義が「前九年合戦」で安倍貞任宗任を攻略した時、その幕下に馳せ参じ、功名を挙げた源家譜代の郎党で、この時の年齢が八十歳の光任でした。

## 光任の嘆き

「年のよることは哀れなものだよ。昔前九年合戦の時に頼義、義家父子の御馬を離れることがなく、生死を共にしましたよと約束したものでしたのに、今日私はこのように老いてしまつて、将軍の勇々しい戦いのお姿をこの目で見る事が出来なくなつたこと誠に無念至極です。将軍が陸奥の国司に任せられた時には私が七十三、四歳で

した、が、将軍とお別れすることが悲しくて都（京都）に残らないで、七年の

後、このようにに老いはれてしまひました。源氏譜代の郎将大宅光任と呼ばれたこの私が、一人国府に棄てられて片時も生きていられましようや、命というものは悲しいものです。一足でもこの私にもお共を命じて下さい。お共を任りましよう。」

と、涙ながらに義家の御馬の轡にすがりつき、泣き泣きさそひます。義家、光任を慰む  
この光任の健気な振舞に、義家も共に涙を浮べて、「なんと嬉しい大宅が志もあろうか。既に此処まで歩いて馳せ参じたのだから今度の出陣の供をしたのと同じではないか。亡き父頼義に従つた者どもは皆死に失せて、一人もこの義家の今日の出陣を逃つてくれる者がいなくなつたのに、御事（光任）を指すは遠々生き残りつてくれたこそ佳例を逃さず目出たき前途を祝つてくれ、この義家にとつてこの上ない喜びと思ふぞ。その上、御事が子孫光房はこの度、仗・辺境を警衛する官」に任せられ義家のお共をすることになつて、御事の代理を勤めることになつてゐるぞ。目出たことではないか、御事も悦び給へ」と、慰めます。

この義家の言葉に納得したものか光任は、今度は恰の光房に評々と戦場における駆け引きのことを注意するのです。並居る諸軍勢も光任の胸中を察し

て、鎧の袖を濡らさない者はなかつたといふことです。

義家の出陣  
光任の忠誠心に感極まつた義家だが「いかに光任、不日に敵を攻め滅ぼして凱戦して再び逢うことにしようぞ。必ず命を大事にして我が留守中の国府を守つていてくれ。家衛も光任を鎧へお連れなされ。」と、出陣を命じます。光任の郎等が光任の手を引いて館に連れていこうとした時、光任はずこく腹を立て、取られた手を振り放つて、「お前たちは何をやるのだ。我は今生の思ひ出に出陣の有様を見たいのだ。早々軍馬を鳴らし給え。一軍は誰だ。二軍は何れの人だ。行列を間違うなぞ。」と、嬉し気に叫びます。先陣は秩父武陣、二陣三浦為次、三陣鎌倉景道、四陣三浦為道、五陣は将軍の御軍、譜代の御家人等きら星の如く、左陣には吉彦秀武、六陣百藤助清、七陣武蔵、相模の勢、八陣清原成衡、清家一族志を守り行列美々數堂々たる出陣に、地面に影り見送る大宅光任は、「このよあるぞ。と、膝を叩き手を上げて旗影の隠れるまで、涙かを見送つた。と言ふことです。」

【参加した事のある行事について】

問16. 最近(3年以内)、市町村の学習の場に参加したことがありますか。

(参加率が高い)

- ①ふるさとまつり 45.6%
- ②しらら音頭講習会 19.6%
- ③室内運動会 16.2%
- ④健康マラソン 11.4%
- ⑤がん子防教室 9.6%

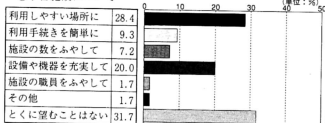
(参加率が低い)

- ・クリスマスコンサート 0.7%
- ・少年団体成人指導者研修会 2.1%
- ・思春期教室 2.1%
- ・パソコン教室 2.4%
- ・移動スキー教室 2.4%

【学習機会関連について】

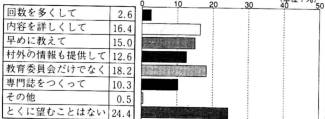
問17. 学習機会に関する次の①～⑦のことについて、最も望むことは何ですか。

①学習施設について



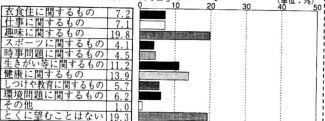
・学習施設は、「利用しやすい場所に建てて」が28.4%、「設備や機器の充実」が20.0%と希望であるが、他方「とくに望むことはない」ことが判り、残念である。

②学習のための情報提供について



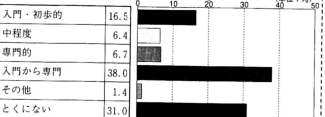
・情報提供については「教育委員会だけでなく、村すべての情報を」が18.2%、「内容を詳しく」が16.4%、「早めに教えて」が15.0%となっているが、他方では「とくに望むことなし」が24.4%と高率で、社会教育にあまり期待をかけていないことが判る。

③学級・講座や講演会の「内容」について



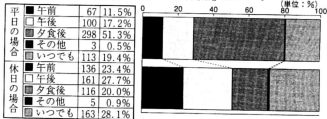
・「趣味に関するもの」が19.8%と最も高く、次いで「健康」が13.9%、「生きがい等」が11.2%、スポーツ・時事問題は4%台と低い。

④学級・講座や講演会の内容の「レベル」について



・「入門から専門的なものまで一貫して学べるものをふやして」が、38.0%と圧倒的に多く、次いで「入門・初歩的なレベルのものをふやして」の16.5%が続いている。そこで、講師等の確保が必要とされる。

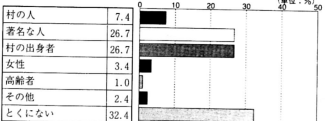
⑤学級・講座や講演会の内容の「時間帯」について



・平日の場合～「夕食後」を希望が51.3%と圧倒的で、「いつでもよい」の19.4%と併せると約70%の人が夕食後でよいことになる。

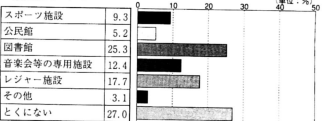
・休日の場合～「午後」が27.7%で1位であるが「午前」23.4%、「夕食後」が20.0%と平均している。

⑥講師について



・「著名な人」、「村出身で村外で活躍している人」がどちらも26.7%と圧倒的に高い。

⑦施設について

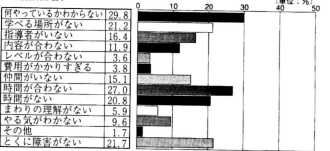


・「図書館が欲しい」(25.3%)、「レジャー施設をふやして」(17.7%)と高い。しかし、「望むことなし」が高率であることが気になる。

【学習上の障害について】

問18. 現在学習する上で、障害となっているのはどのようなことですか。

(複数回答)



・「どこで、どんなことをやっているかわからない」が29.8%、これは広報・宣伝の方法に今までは違った特別の工夫が必要なことを示しているのか、それに次ぐのが「時間が合わない」が27.0%、「近くに学べる場所がない」が21.2%、「時間が合わない」が20.8%が多かった。「レベル」「費用」「まわりの理解」は、割合に低い。「特に障害はない」の21.7%は、今後に希望を持たせる数字ではないだろうか。

※アンケートにご協力ありがとうございました。

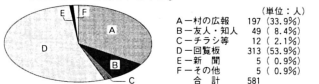


# 市浦村の成人の学習に関する意識と実態調査報告書②

村社会教育の現状とその問題点を把握するとともに、村民の学習活動を支援・促進するための中長期社会教育の作成等の基礎資料や村内成人の学習活動に関する意識や活動の実態等を総合的に把握するため、平成7年3月3日に行われた実態調査の結果を前号に引き続きお知らせします。

## 【学習活動等の情報の入手について】

問11. 市浦村の行っている各種の学習活動や事業についての情報を主にどこから得ていますか。

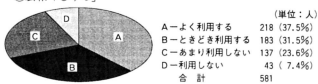


・回覧板(約54%)、村の広報(約34%)と圧倒的である。チラシ・ポスターの効果はきわめて薄いようである。

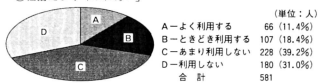
## 【広報等の活用について】

問12. 市浦村のつぎの広報を、どの程度利用していますか。

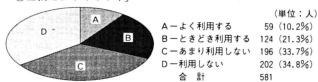
### ①広報「しらら」



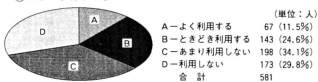
### ②社協だより「ふれあい」



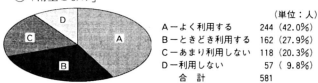
### ③社教だより「けやく」



### ④スポーツカレンダー



### ⑤「衛生ごよみ」

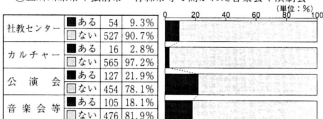


- ①広報「しらら」は利用するが併せて約70%、しかし「しない」が31%とかなり高いから、P.R活動に「改善の余地あり」を示しているかに思われる。
- ②社協だより「ふれあい」は、あまり利用されておらず、関心の薄さを示している。
- ③社教だより「けやく」も同様の結果を示している。
- ④スポーツカレンダーは利用が約3分の1で、やはり「しない」が多い。
- ⑤「衛生ごよみ」は、逆に「利用する」70%と非常に多い。

## 【社会教育関係の講座等への参加について】

問13. ここ3年くらいの間に次の①～④の所に行ったり、参加したことがありますか。

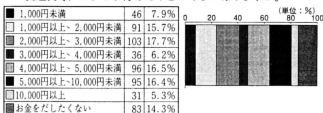
- ①青森県総合社会教育センター
- ②カルチャーセンター (NHK文化センター、RAB学苑等)
- ③五所川原市や弘前市・青森市等で開かれた公演会
- ④五所川原市や弘前市・青森市等で開かれた音楽会や演劇会



- ①青森県総合社会教育センターは、「ある」が9.3%と約1割弱と低い。
- ②カルチャーセンターは、約3%と非常に少ない。
- ③公演会(約22%)と④音楽会や演劇会(約18%)は、開催場所が遠くても、割合参加が多い感じである。

## 【受講料等に出してもよいお金(1ヶ月)について】

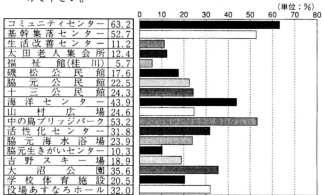
問14. 自分の学習のために出してもよいお金(受講料、材料費、交通費等)は、1ヶ月あたりどのくらいありますか。



- ・1,000円から3,000円までがあわせて33.4%、4,000円から10,000円が32.9%と2つに分かれている。
- 学習にお金をかけたくないが、14.3%いることも注目される。

## 【施設の利用状況について】

問15. これまでに市浦村の次のような施設を利用したことがありますか。「利用したことがある」施設にいくつでも○印をつけて下さい。



- ①コミュニティセンター(63.2%)、②中の島ブリッジパーク(53.2%)、③基幹集落センター(52.2%)、④海洋センター(43.9%)、⑤大沼公園(35.6%)

**「農林水産情報センター」  
開設のお知らせ**

農林水産省では、農林水産業に関する総合的な情報の提供や照会・相談に応える窓口として、全国各地にネットワークがある統計情報組織に「農林水産情報センター」を設置し6月からサービスを始めています。

地域の皆様の知りたい行政情報、統計データ等の入手がより便利になりました。「農林水産情報センター」の窓口をお気軽にご利用下さい。

▶ **主なサービスの内容**

- ・農林水産情報の提供
- ・農林水産業に関する照会及び相談
- ・農林水産行政の情報提供
- ・生産者・消費者等、皆様の意向を行政に活用
- ・利用者の要望に沿った統計情報の提供

▶ **問い合わせ窓口**

農林水産情報センター（青森統計情報事務所五所川原出張所内）

▶ **所在地**

五所川原市岩木町12-3

▶ **電話番号**

35-6060-1

▶ **FAX**

35-8920

**児童手当制度の  
お知らせ**

**児童手当の目的**

児童手当は、児童を養育している人に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的としています。児童手当のしくみ

● **支給の対象**

児童手当は、3歳未満の児童を養育している人に支給されます。ただし、前年（1月から5月までの月分の手当については前々年）の所得が一定額以上の場合には、所得制限により児童手当は支給されません。

● **児童手当の額**

- 第1子 5,000円（月額）
- 第2子 5,000円（月額）

第3子以降 10,000円（月額）

● **児童手当の支給**

児童手当の支給は、認定請求をした日の属する月の翌月から開始（一部特例があります。）され、支給事由の消滅した日の属する月分まで終わります。

なお、原則として手当は、毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までが支給されます。

● **特例給付**

所得制限により児童手当を受けられないサラリーマン等（厚生年金等に加している人）については、その人の前年（1月から5月までの月分の手当については前々年）の所得が一定未満の場合に限って、特例給付（児童手当と同額）が支給されます。

▶ **お問い合わせ**

市浦村役場住民福祉課まで

**津軽鉄道からの  
お知らせ**

津軽鉄道では、喜良市線架道橋（金木警察署から東側へ300m）かけ替え工事に伴い**嘉瀬～金木間の列車を運休し、バス代行輸送**となります。なお**各駅の発車時刻の変更または運休等もあります**ので発車時刻を確認のうえご利用下さい。

みなさまには大変ご不便をおか

けいたしますがご理解とご協力をお願い致します。

● **運休休止日**

平成8年12月1日

（当日のみ運休予定です）

● **運休によるバス代行区間**

嘉瀬～金木間

（※上記の区間については全列車が運休となります。そのほかの区間についても運休または時間変更があります。）

● **運休時間**

6:30分から20:30分まで

▶ **お問い合わせ**

津軽鉄道本社 34-2148

34-2149

金木駅 53-2056

津軽中里駅 57-2050

**失業の認定場所が  
変わりました**

従来、1月1日～2月28日までの失業の認定及び失業給付の支給につきましては、村役場・十三出張所・脳元出張所で行っていましたが、平成8年度より廃止となり、今後は五所川原公共職業安定所で行うことになりましたので、お間違えのないようにお願いします。

▶ **お問い合わせ**

五所川原公共職業安定所

▶ **電話番号**

34-3171

**— あなたも参加 わたしもやります “交通安全” —**

これから北国は雪の季節を迎えます。冬期間の安全運転のために冬の交通安全運動が開催されます。

**冬の交通安全運動**

**実施期間**

平成8年12月1日(日)

～12月25日(木)

**運動の重点目標**

1. 冬道に配慮した運転の推進
2. シートベルト着用の徹底

**スローガン**

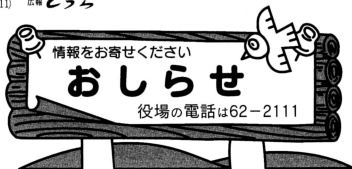
「安全はスピードダウンと  
ゆとりから」

**冬道の安全運転**

- 1 割のスピードダウン
- 2 倍の車間距離
- 3 分早めの出発

**冬道安全運転のポイント**

- (1) **路面** 時々、試しブレーキで滑り具合をチェックする。
- (2) **交差点** 必ず手前でシフトダウンし減速して接近する。
- (3) **わだち** スピードを十分落とし、アクセルを一定に保つ。
- (4) **カーブ** 進入する前にあらかじめシフトダウンする。
- (5) **下り坂** 手前で必ず低速ギアに切り替え、エンジンブレーキを効かせて下る。



## 自衛隊生徒を募集しています

防衛庁では来年度の自衛隊生徒を募集しています。

### ▶受付期間

平成9年1月4日まで

### ▶応募資格

中学校卒業（見込み含む）の方で平成9年4月1日において15歳以上17歳未満の男子

### ▶試験

- 1次 平成9年1月5日  
2次 平成9年1月22日から26日の間の指定する1日  
入隊 平成9年3月下旬

### ▶お問い合わせ

五所川原募集事務所 又は市浦村役場総務課まで

### ▶電話番号

62-2111

## 水戸口50周年記念シンポジウム開催のお知らせ

岩木川河口に位置する十三湖水戸口は古くから日本海の荒波の影響を受け閉塞が繰り返され、そのため湖水が溢れ岩木川下流域に大きな被害をもたらしていましたが現在の水戸口突堤が完成してから50年を経過しても閉塞による被害は起きておらず、津軽地域の農業等の発展に寄与した歴史的な河川構造物として評価されています。今回水戸口における過去の歴史

や災害を振り返り、水戸口突堤建設事業に携わった方々の偉業をたたえとともに、水戸口突堤の効果を再認識し、河川整備の大切さを啓発・啓蒙するためシンポジウムを開催します。

### ▶内容

十三湖水戸口50周年記念シンポジウム

### ▶日時

12月5日 14:00～17:00

### ▶場所

あすなろホール（市浦村役場隣）

### ▶お問い合わせ

市浦村役場総務課まで  
☎62-2111

## 仕事と家庭の両立を支援します

少子・高齢化、核家族化が進む中で、育児・介護に関する問題は、勤労者家庭にとって、重大で深刻な問題となっています。このような中で、「育児休業等に関する法律」を大幅に改正する法律が平成7年6月5日に成立し、同年10月1日から一部が施行されています。

この法律には、国による育児や家族の介護を行う労働者のための支援措置が盛り込まれており、その一つとして、これらの労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援する措置を講じた事業主に対する給付金があります。これらの給付金を活用すること

## 市浦村の人口と世帯数 平成8.11.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,285	1,294	411
桂川	71	70	23
太田	295	295	90
藤元	556	552	199
磯松	311	314	113
十三	805	800	251
計	3,323	3,225	1,087

で、事業主の皆さんが無理なく労働者の「職業生活」と「家庭生活」の両立を支援することが容易になります。

育児や家族の介護を行う労働者を支援する事業主の方への給付金があります。どうぞご利用ください。

### ▶介護休業制度導入奨励金

対象 介護休業制度を新たに導入した事業主

内容 1事業主につき、

	最初の休業者	二人目以降の休業者
中小企業	75万円	20万円
中小企業以外	55万円	10万円

### ▶事業所内託児施設助成金

対象 ●事業所内託児施設を設置し、運営を始めようとしている事業主又は事業主団体  
●事業所内託児施設の運営を始めようとしている事業主又は事業主団体

内容 1事業所につき、1施設を限度

設置費	新築又は購入した費用の2分の1 (2350万円を限度)
運営費	運営にかかる費用の2分の1 (年間374万4千円を限度・最長5年間)

### ▶育児・介護費用助成金

対象 育児や介護についてのサービスを利用する労働者に対して、その利用にかかる費用を補助した事業主

内容 事業主が負担した額の

中小企業	5分の4
中小企業以外	2分の1

▶育児・介護等退職者再雇用促進給付金  
対象 育児・介護等で退職した労働者を再雇用した事業主

内容 対象者一人当たり

中小企業	40万円
中小企業以外	30万円

※いずれも雇用保険の被保険者であることが条件です。

### ▶お問い合わせは

㈱21世紀職業財団 青森事務所  
〒030 青森市中央1-25-3 青森共栄  
火災ビル6階 ☎0177(76)2020

## 県内の交通事故概況

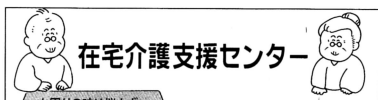
青森県交通対策協議会

10月		累計	死者のうち	高齢者の死者	
発生	死者	死者		30(25)	31(16)
757 (739)	10 (14)	6,777 (6,713)	113 (14)	6,777 (6,713)	64 (59)
907 (867)	10 (14)	8,210 (8,130)	113 (14)	8,210 (8,130)	57 (48)
					22 (24)

( )内は前年。累計は1月から。

# 健康への道

No. 102



## 在宅介護支援センター

お困りの時は悩まず、  
在宅介護支援センターへ



**たとえばこんなとき！**  
 ☆家庭での介護の仕方がわからない。  
 ☆介護疲れで少し休養したい。  
 ☆日帰り入浴などのサービスをうけたい。  
 ☆介護用品を利用したいが、どこで聞けばいいの？  
 ☆もう少し歩けるように訓練したい。  
 ほかにもいろいろな相談や福祉サービスの窓口として手続きのお手伝いなどをいたします。

◎お気軽に相談して下さい！

市浦村在宅介護支援センター

☎62-3303

※相談は無料です。  
 =相談内容に応じて自宅へ訪問することもできます。=

皆さんは、村の「在宅介護支援センター」について、どのくらい御存知でしょうか。  
 今回は、今年か活動がスタートしている「在宅介護支援センター」について紹介したいと

- ★ 思います。
- ★ 在宅介護支援センターとは、どんな所なのか？
- お年寄りの介護にあたっての方の相談に応じます。
- 必要な保健福祉のサービスが受けられるように調整します。
- 介護に便利な機器・用品を展示・紹介してあります。
- 名前の通り「在宅の介護を支援するセンター」なのです。
- 家庭で、どのように介護をしたらよいか分らない。
- 家庭での介護疲れで、少し休養したい。
- 家では難しい入浴などのサービスを受けたい。
- 介護に必要な用品を利用したい。

## 在宅介護支援センター

ですから、次のようなことでお困りの時は悩まず、センターの方へ相談してみると良いのです。

★ 例えば、こんな時！

在宅介護支援センターは、悠遊郷に隣接しており、介護福祉士・准看護婦・ヘルパーが皆さんのお手伝いのためです。利用の状況は、電話相談・センターからの訪問等があり、少しずつ皆さんの力になれるよう活動しています。

一度どんな所か見てみたいな...とお考えの方、いつでも職員が温かくおむかえます！

- ▽ お誕生
- |   |      |   |
|---|------|---|
| 北 | 藤 勝弘 | 内 |
| 村 | 土 新二 | 内 |
| 山 | 和 貴子 | 内 |
| 引 | 藤 美希 | 内 |
| 北 | 西 俊藏 | 内 |
| 葛 | 和 泉  | 内 |
| 村 | 三 智子 | 内 |
| 山 | 三 真悟 | 内 |
| 西 | 東 智子 | 内 |
| 葛 | 三 真悟 | 内 |
| 古 | 三 真悟 | 内 |
| 福 | 三 真悟 | 内 |
| 柳 | 三 真悟 | 内 |



- ▽ おくやみ
- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 成 | 田 昌仁  | 内 |
| 千 | 田 明美  | 内 |
| 西 | 間 祥宏  | 内 |
| 三 | 村 真由美 | 内 |
| 寺 | 谷 繁之  | 内 |
| 谷 | かおり   | 内 |

お詫び

前号でお知らせしました村外からお寄せいただいた婚神コンサートの感想は、都合により見送らせていただきましたことをお詫び申し上げます。

